広報かるまい

Karumai 11

町の魅力と町民の輝く姿を届ける情報誌

Nov. 2026
vol. 812



【表紙】
小軽米小学校５年生
稲刈り体験

さるなしでつながる 軽米の秋





全国さるなし・こくわサミット



全国のさるなし生産者が集う「第8回全国さるなし・こくわサミット」が10月24日、25日の2日間、7年ぶりに軽米町を会場に開催されました。

今回は、軽米町を含む全国10市町村から関係者が参加。24日には町役場で総会や意見交換会が行われ、山形県飯豊町、岡山県新庄村、軽米町の3町村の代表者が、さるなしの栽培や商品開発、販路拡大など、それぞれの地域での取り組みを発表しました。参加者は各産地が抱える課題や今後の展望について意見を交わし、交流を深めました。

25日には宇漢米館で各産地のPRが行われ、同日開催の「食フェスタ」では、全国各地のさるなし商品が販売されました。会場には各地の特色を生かした商品が並び、来場者にさるなしの多彩な魅力を伝える機会となりました。

意見交換会



矢嶋 剛寛（たけひろ） さん（山形県飯豊町　生産者）

飯豊町では、こくわ（さるなし）の生産者が減少し、生産量も伸び悩んでいます。そこで現在、山形大学の学生と連携し、町民への認知度調査を計画しています。これまで東京都内での販売会にも参加し、こくわの実を実際に見てもらい、熟した時の豊かな香りを知ってもらうことで、その魅力を伝えてきました。今後は、こくわワインなどの加工品のPRや新商品の開発にも取り組みたいと考えています。地域を盛り上げるためには、大学生など若い世代の意見や発想がとても大切です。これからも多くの人と協力しながら、こくわの魅力を広め、地域活性化につなげていきたいです。

臼井 幸（みゆき） さん（岡山県新庄村　サルナシ栽培研究会）



新庄村では、さるなし栽培研究会を中心に、生産者同士が協力しながら栽培に取り組んでいます。生産者の高齢化や人手不足、品種の管理などが課題となっています。また、これまで道の駅に任せていた販売を自分たちで行うことになり、新たな挑戦が始まりました。実際に対面販売をしてみると、お客さんの反応を直接感じることができ、さるなしの魅力を伝える喜びを実感しました。今後は、アイスクリームやドレッシングなど、新しい加工品の開発にも挑戦したいと考えています。これからも仲間と助け合いながら、みんなの「さるなし愛」で新庄村を盛り上げていきたいです。



玉田 浩之（ひろゆき） さん（岩手県軽米町　㈱軽米町産業開発）

㈱軽米町産業開発では、生産者からさるなしを買い取り、ジュースやジャム、ソフトクリームなど、さまざまな加工品を製造・販売しています。年間約８トンのさるなしを使用し、その約98％を加工品に活用しています。また、生の果実のおいしさも知ってもらうため、東京都内のアンテナショップなどで対面販売にも取り組んでいます。近年は、盛岡市の福田パンでさるなしジャムが採用されるなど、活用の幅も広がっています。今後は、品種ごとの特徴を生かした栽培や商品づくりを進めるとともに、ジャム作り体験やスムージーなど新たな楽しみ方も提案し、さるなしの魅力をさらに広めていきたいです。

食フェスタinかるまい２０２６

軽米の食の魅力が一堂に会する「食フェスタinかるまい２０２６」が10月25日に宇漢米館特設会場で開催されました。

会場には、町内企業や姉妹町の北海道音更町などから18団体が出店。特産品の販売や自慢の料理が並んだほか、とり天バーガーづくりやさるなし大福づくり、花台づくりなどの体験コーナーも人気を集めました。

多目的ホールでは、創作太鼓の会「座・宇漢米」の力強い演奏や沢田神楽、山内神楽の郷土芸能が披露され、岩手県在住のお笑い芸人・天津木村（てんしんきむら）さんのトークショーも会場を盛り上げました。

かるまいブランド認証式では、荒澤農産（荒澤作郎（さくお）代表）の「山ぶどうジュース（パウチ）」と苅谷果樹園（苅谷恭子（ちかこ）代表）の「ブルーベリー」の2商品が新たに認証されました。

















1 北海道音更町の特産品販売　2 蕎麦をおいしそうに頬張りました　3 切炭販売（町白煙会）　4 花台づくり木工体験（町大工組合）　5 町産ホップ使用のビール試飲（町ホップ連絡協議会）　6 とり天バーガーづくり体験　7 天津木村さんと山本町長とのトークショー　8 軽米産牛肉をパクリ

多彩な企画で校内にぎわう


吹奏楽部の演奏に合わせて踊るヒエポン

軽米高校の文化祭「軽高祭」が10月17日に開催され、約600人が来場しました。今年のテーマは「Link～笑顔をつなぐ軽高祭～」。

ステージ発表では、有志団体によるバンド演奏やK－POPダンス、郷土芸能同好会による山内神楽、吹奏楽部の演奏などが披露され、会場を盛り上げました。

各教室では、1年1組の「カジノ」、1年2組の「サバゲー」、2年生の「お化け屋敷」、3年生の「模擬店」など、趣向を凝らした企画が行われました。また、生徒会企画の「コウシャ撮影ツアー」には行列ができたほか、PTAによるパンの販売なども行われ、校内は多くの来場者でにぎわいました。

実行委員長の藤井瑠偉（るい）さん（3年）は「初めての模擬店で準備は大変でしたが、みんなで協力して進めました」と話しました。


郷土芸能同好会による「山内神楽」の演舞


1年1組「カジノ」


3年生「模擬店」


K－POPダンス


バンド演奏

仲間とともに最高の文化祭

軽米中学校の文化祭「晴陵祭」が10月23日に開催されました。今年のテーマは「Harmony～個性が織り成す一体感～」。生徒たちによる伝統芸能「宇漢米太鼓」の力強い演奏で幕を開け、生徒会によるダンスが会場を盛り上げました。

「わたしの主張」では、畑中結奈（ゆな）さん（3年）が「希望に満ちた出会い」と題して発表。合唱コンクールでは、各学年が練習の成果を発揮し、心を一つにした美しい歌声を響かせました。このほか、吹奏楽部による演奏や各学級の展示も行われ、生徒たちの日頃の活動の成果が披露されました。

閉会式では、小原亮（りょう）校長が生徒たちの努力をたたえ、「最高の晴陵祭、ありがとうございました」とねぎらいました。



オープニングセレモニーで披露した「宇漢米太鼓」


畑中さんによる「わたしの主張」



ＰＴＡ展示「バレー部写真集」


息の合った演奏を
披露する吹奏楽部


学級展示「牛乳パックデザイン」


真剣な表情で
ピアノを演奏



最優秀賞を獲得した３年Ａ組

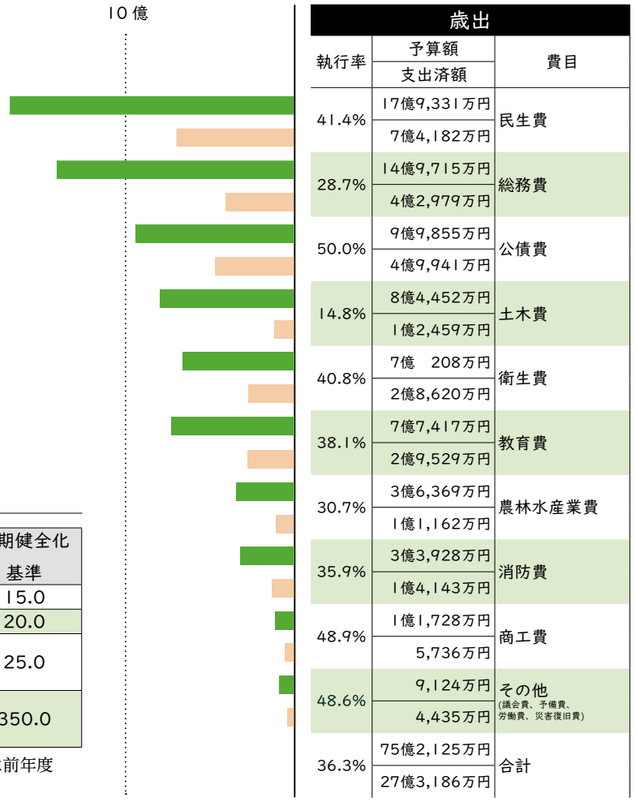
令和８年度
上半期

財政状況の公表

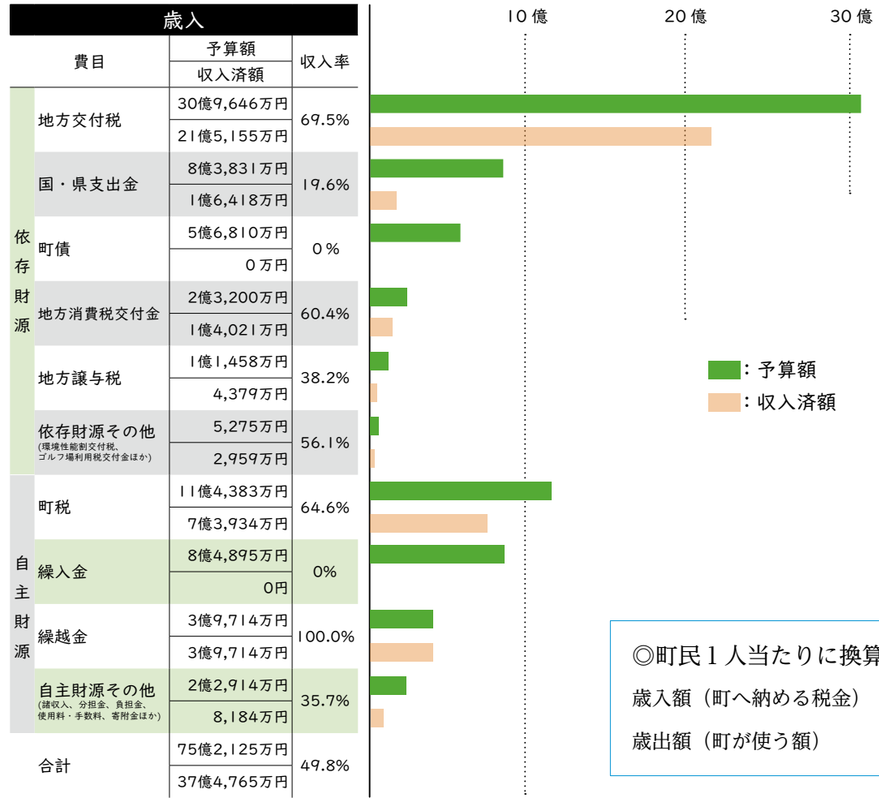
町は、皆さんに納めていただいた税金などが町づくりにどのように使われているのかをお知らせするため、半年ごとに財政状況を公表しています。今回は令和８年度（４月から９月）の状況についてお知らせします。（令和８年９月末時点）
※各数値は、千円単位を四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合があります。



一般会計



歳出			
執行率	予算額 支出済額	費目	
41.4%	17億9,331万円 7億4,182万円	民生費	
28.7%	14億9,715万円 4億2,979万円	総務費	
50.0%	9億9,855万円 4億9,941万円	公債費	
14.8%	8億4,452万円 1億2,459万円	土木費	
40.8%	7億　208万円 2億8,620万円	衛生費	
38.1%	7億7,417万円 2億9,529万円	教育費	
30.7%	3億6,369万円 1億1,162万円	農林水産業費	
35.9%	3億3,928万円 1億4,143万円	消防費	
48.9%	1億1,728万円 5,736万円	商工費	
48.6%	9,124万円 4,435万円	その他 (議会費、予備費、労働費、災害復旧費)	
36.3%	75億2,125万円 27億3,186万円	合計	



歳入			
	費目	予算額 収入済額	収入率
依存財源	地方交付税	30億9,646万円 21億5,155万円	69.5%
依存財源	国・県支出金	8億3,831万円 1億6,418万円	19.6%
依存財源	町債	5億6,810万円 0万円	0%
依存財源	地方消費税交付金	2億3,200万円 1億4,021万円	60.4%
依存財源	地方譲与税	1億1,458万円 4,379万円	38.2%
依存財源	依存財源その他 (環境性能割交付税、ゴルフ場利用税交付金ほか)	5,275万円 2,959万円	56.1%
自主財源	町税	11億4,383万円 7億3,934万円	64.6%
自主財源	繰入金	8億4,895万円 0円	0%
自主財源	繰越金	3億9,714万円 3億9,714万円	100.0%
自主財源	自主財源その他 (諸収入、分担金、負担金、使用料・手数料、寄附金ほか)	2億2,914万円 8,184万円	35.7%
	合計	75億2,125万円 37億4,765万円	49.8%

◎町民１人当たりに換算すると…
歳入額（町へ納める税金）　15万2,979円
歳出額（町が使う額）　100万5,919円

健全化判断比率の公表

区分	軽米町	県内市町村平均	早期健全化基準
実質赤字比率	ー	ー	15.0
連結実質赤字比率	ー	ー	20.0
実質公債費比率	10.6 (10.6)	9.7 (10.2)	25.0
将来負担比率	13.5 (20.5)	25.7 (27.4)	350.0

※赤字額がない場合は「ー」を記載しています。（　）は前年度

水道事業会計

	科　目	予算額	収入済額
収益	水道料金	1億7,609万円	8,713万円
収益	一般会計補助金	8,275万円	4,138万円
収益	その他の収益	6,139万円	4,441万円
収益	合　計	3億2,024万円	1億7,292万円

執行率　54.0%

	科　目	予算額	支出済額
費用	水をつくる費用	1億3,284万円	4,499万円
費用	施設の減価償却	1億6,792万円	8,396万円
費用	借入金利息	1,280万円	879万円
費用	その他の費用	530万円	0万円
費用	合　計	3億1,886万円	1億3,774万円

執行率　43.2%

下水道事業会計

	科　目	予算額	収入済額
収益	下水道使用料	2,904万円	1,450万円
収益	一般会計補助金	5,027万円	2,514万円
収益	その他の収益	5,915万円	3,018万円
収益	合　計	1億3,847万円	6,982万円

執行率　50.4%

	科　目	予算額	支出済額
費用	汚水処理にかかる費用	3,849万円	2,681万円
費用	施設の減価償却	9,264万円	4,623万円
費用	借入金利息	733万円	409万円
費用	その他の費用	500万円	0万円
費用	合　計	1億4,346万円	7,713万円

執行率　53.8%

町債の残高

町債(借入金)	
政府資金	84億7,911万円
旧郵政公社(簡保・郵貯)	14万円
地方公共団体金融機構	11億4,534万円
銀行、農協等金融機関	3億2,320万円
合　計	99億4,779万円

町の資産

公有財産	土地	589万9,958㎡	（うち山林　282万2,365㎡）	
公有財産	建物	8万5,699㎡	無体財産	（商標権）２件
公有財産	出資による権利	5,479万円	有価証券	6,106万円
債権	貸付金	2億4,583万円		
基金	残高	34億4,081万円	土地	72万5,700㎡

特別会計

	歳入			歳出	
費目	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	10億5,824万円	3億8,381万円	36.3%	4億2,012万円	39.7%
後期高齢者医療	1億5,089万円	4,722万円	31.3%	3,693万円	24.5%

※特別会計は、特別の目的のために一般会計と区分して経理管理される会計で、それぞれ独自の予算を組んでいます。



教育委員会事務局から

軽米町文化協会主催 SHAMISENライブ開催のお知らせ

軽米町文化協会主催の「SHAMISEN ライブ」を開催します。

津軽三味線を演奏する永村幸治さんは演奏だけではなく楽曲提供や音楽作品への参加など幅広く活動をされています。

今回の「SHAMISEN ライブ」では津軽三味線とピアノ、ベース、ドラムという洋楽器を組み合わせた独自のスタイルから表現される音楽を聴くことが出来ます。



日　時▶11 月 29 日 (日)
　　13：00 開場、13：30 開演
会　場▶かるまい文化交流センター　多目的ホール
入場料▶町内 /1,500 円　町外 /2,000 円 (全席指定)
　　高校生以下　町内 /800 円　町外 /1,000 円
※ 11 月 2 日（月）からかるまい文化交流センターで入場券販売を開始しています。

○お支払いは現金のみとなります。お釣りのないようにご協力をお願いします。
○入場券を購入する際は、住所が確認できるものをお持ちください。
○就学前のお子様の同伴・入場はご遠慮ください。

かるまい文化交流センター宇漢米館の 11 月・12 月休館日

令和８年 11 月と 12 月と年末年始のかるまい文化交流センター宇漢米館の休館日は次のとおりです。休館日であってもバス待合所はご利用いただけます。

なお、休館日は正面玄関の自動ドアは作動しません。御用の方は、インターホンを押してください。

休館日▶11 月 16 日（月）、24 日（火）、30 日（月）
　　12 月７日（月）、14 日（月）、21 日（月）、28 日（月）、29 日（火）、30 日（水）、31 日（木）
　　１月１日（金）、２日（土）、３日（日）、４日（月）

【問い合わせ】
教育委員会事務局（☎46-4744）

一般県道二戸軽米線 新町工区の道路整備が進められています

町中心部の県道二戸軽米線は、車道の幅が狭く見通しも悪いことから、車両や歩行者の通行に不安がありました。岩手県では、軽米高校をはじめとする学校や軽米町役場等の公共施設周辺の道路を整備し、町民の皆さんや児童・生徒の安全で安心な通行の確保を目指しています。



事業概要

事業主体　岩手県
事業期間　令和２年度～令和９年度
計画延長　1,300m
　　（内訳　２車線区間：700m
　　1.5車線区間：600m）

概要図

工事のポイント

●通学路の安全性向上
　歩道の整備により、児童・生徒をはじめ歩行者の安全を確保します。

●安全で円滑な道路通行の確保
　1.5～２車線に車道幅員を拡げ、安全で円滑に通行しやすい道路にします。

●ＩＣＴ施工で効率化
　ドローンや３Ｄデータを活用し、安全で高品質な工事を進めています。

工事の進捗状況

改良その１工事	役場前交差点付近（約 80m）の改良舗装工事を行い、令和７年 12 月に供用開始しました。
改良その２工事	改良その１工事の南側（約 180m）の盛土等の改良工事を行い、令和８年９月に完了しました。
改良その３工事	改良その２工事の南側（約 440m）の切土等の改良工事を進めています。【施工中】

今後は、その３工事に加え、残る1.5車線区間（約600m）の改良舗装工事と２車線区間における未供用区間(約620m)の舗装工事を進め、令和９年度内の全線供用開始を目指していきます。







軽米町ふるさと大使通信

僕と、あなたと、軽米と。



・令和６年８月、軽米町ふるさと大使に就任
・軽米町出身
・スイーツアイドルユニット「甘党男子」メンバーとして活躍中
SNS情報
＃軽米町ふるさと大使

神久保 翔也（しょうや）ふるさと大使

ただいま、秋祭り

先日行われた「軽米秋まつり」。２日目の流し踊りに参加してきました。

町にいた頃はもっぱら見る側で、実は踊るのは今回が初めてです。なので、本番前に、宇漢米館で行われた、かるたす主催の「はじめての流し踊り体験会」に参加してきました。各地から集まった甘党男子や軽米のファンの皆さんと、一緒に講師の先生から、軽米音頭の踊りをみっちり教わりました。

普段はアイドルとして歌って踊っている僕ですが、流し踊りは勝手が違う。苦戦もしましたが、町外の方も交えて練習できて、とても幸せな時間になりました。本番中は、中学時代の同級生や、子どもの頃にお世話になった方々をはじめ、たくさんの方に声をかけてもらいました。自分自身、「見る側」から一歩踏み込んで参加できた、今回のお祭り。今後も、体験会などをきっかけに、参加の輪がさらに広がれば嬉しいです。僕もふるさと大使として、もっと町のイベントを盛り上げていきたいと思いました。素敵な時間をありがとうございました。



流し踊り体験会に参加した皆さんと記念写真



流し踊り本番！





LED照明に更新されたセンター内のホール

施設の照明をLEDに更新

上舘農業構造改善センターの照明設備 LED 化工事が完了し、10 月 15 日に完成検査が行われました。工事は６月 12 日に着工し、ステージやホール、研修室、トイレ、玄関など、館内全ての部屋の照明を更新しました。今回 LED 化した照明は、ダウンライト 21 台、ベースライト 32 台、非常照明器具３台、シーリングライト２台の計 58 台。LED 化により、消費電力の削減や照明器具の長寿命化が期待されます。今回の整備によって、地域の皆さんがより快適に利用できる施設環境づくりを進めました。

特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺被害防止対策の推進

詐欺の電話はアプリでブロック

岩手県内における令和８年中（８月末）の特殊詐欺の被害は、認知件数 182 件、被害額約 11 億 7,332 万円となっており、前年同時期と比較して認知件数、被害額とも増加傾向にあります。被害者の約６割が 10 代から 64 歳までの現役世代で若年層にも被害が拡大しています。

急増している手口は、ＳＮＳを利用して投資の広告やダイレクトメッセージからグループＬＩＮＥに誘導し、偽のアプリで利益が出ているように見せかけて現金や暗号資産を騙し取る「ＳＮＳ型投資詐欺」の手口です。

また、警察官になりすまして資金調査等の名目で現金等を騙し取る「ニセ警察詐欺」の手口による被害も依然として多く、犯人は電話で接触してきます。

国際電話番号のほか、犯行に使われている電話番号も遮断・警告する機能を有した特殊詐欺対策アプリ（無料）をご自身はもちろん、ご家族のスマートフォンに入れて、詐欺の電話をブロックしましょう。

また特殊詐欺対策アプリとあわせて、固定電話で海外との通話が不要な方に、国際電話利用休止申込もお願いしています。

警察庁・SOS47
特殊詐欺対策ページ

国際電話不取扱受付センター

電話番号　０１２０－２１０－３６４（通話無料）
取扱時間　オペレータ案内：平日午前９時から午後５時まで
　　自動音声案内：平日、土日祝２４時間

※国際電話利用休止申し込みは、固定電話やひかり電話が対象です。

国際電話不取扱
受付センター

【問い合わせ】　二戸警察署軽米駐在所（☎46-2004）

軽米町長選挙



令和９年１月12日（火）告示

投票日　**令和９年１月17日（日）**

立候補予定者説明会を 12 月 17 日（木）に開催します。
時間・会場などの詳細は、決まり次第改めてお知らせします。

【問い合わせ】
選挙管理委員会（☎46-2111）

ゴールを目指して力走

町内小学校の駅伝競走大会

第16回軽米町小学校駅伝競走大会が10月８日にハートフル･スポーツランドで開催され、町内の小学校３校から93人が出場しました。選手たちは１周1500mのコースを４人でたすきをつなぎ、沿道からの声援を背に力走。男女ともに小軽米小学校Ａチームが優勝し、女子は見事３連覇を達成しました。結果は次のとおりです。

【男子】

①小軽米小Ａ（21分24秒）
②軽米小Ａ（22分36秒）
③軽米小Ｄ（25分16秒）

【女子】

①小軽米小Ａ（25分43秒）
②晴山小Ａ（27分08秒）
③軽米小Ａ（27分31秒）



全力を出し切りゴールへ一直線！



アベック優勝をした小軽米小学校Ａチーム

交通死亡事故ゼロ２年達成

県警本部長賞賛状を受賞



交通死亡事故ゼロの継続を誓う関係者

交通死亡事故発生抑止２年達成に伴う賞賛状伝達式が軽米町役場で行われました。町は10月６日で交通死亡事故ゼロを２年間継続。官民一体となった交通安全活動が評価され、岩手県警察本部長賞賛状が授与されました。佐々木秀行（ひでゆき）二戸警察署長は「町全体で交通事故防止に取り組まれた成果です」とたたえました。

駒踊りとゲームで楽しく交流

町内３園による年長児交流会

町内の保育施設３園による交流会が10月７日に宇漢米館で開かれました。軽米こども園、晴山保育園、小軽米保育園の年長児23人が参加。それぞれの園で練習を重ねてきた駒踊りを合同で披露し、元気いっぱいの掛け声がホールに響き渡りました。駒踊り後は、じゃんけん列車や仲間集めゲームで楽しく交流しました。



一生懸命に駒踊りを披露

春の田植えから実りの秋へ

小軽米小稲刈り体験



鎌を使って稲の収穫に挑戦

小軽米小学校の５年生６人が10月16日、総合的な学習の時間に育ててきた稲の収穫を体験しました。児童たちは５月に「ひとめぼれ」の苗を植え、草踏みや成長観察などを通して米作りについて学習。この日は鎌やバインダーを使った稲刈りに挑戦し、収穫した稲を校庭で天日干ししました。

町内外のランナーが健脚競う

ロードレース大会・ふれあいマラソン

第44回軽米町ロードレース大会兼軽米町ふれあいマラソンが10月11日に開催され、５kmの部に55人、２kmの部に71人が出場しました。５km一般男子40～49歳の部で１位に輝いた新井谷潤（じゅん）さん（久慈市）は「十数年ぶりの参加でしたが、自分のペースで走り切り、うまくまとめられました」と振り返りました。



５kmの部で一斉にスタートを切るランナーたち

軽米の特産品を音更町でPR

姉妹町音更町と交流



軽米産りんごなどの特産品を販売

「食育・地産地消」をテーマにした「みのり～むフェスタおとふけ2026」が10月４日に姉妹町の北海道音更町で開催されました。軽米町からも参加し、軽米町特産品コーナーで軽米産りんごやさるなしドリンクなどを販売しました。毎年恒例の訪問交流を通じて、軽米町の魅力を発信しました。

大空へ！ドローン操作に挑戦

ドローン操作体験会を開催

軽米町子ども会育成会連絡協議会主催のドローン操作体験会が10月３日にハートフル・スポーツランドで開かれました。参加者は、ドローンの安全な飛ばし方を学んだ後、実際に操縦を体験。小学３年生以下はトイ・ドローンを操作しました。子供たちは楽しみながら、ドローンの役割や技術への関心を深めました。



ドローンの動きを見守りながら操縦に挑戦

在京軽米会だより

遠く離れても想う ふるさとの空

軽米町民の皆様、在京軽米会会員の皆様、東京都在住の畑澤です。

「広報かるまい」を通じて、ふるさとのニュースや皆様の活躍に触れるたび、懐かしい子供時代や学生時代の思い出が鮮やかによみがえります。満天の星空が広がる大自然の中で、仲間たちと過ごした日々が、今の自分自身の原点になっていることを、年齢を重ねるごとに強く実感しています。

在京軽米会では、関東圏に暮らす軽米町出身者や軽米高校同窓生の皆様にとって、心のよりどころとなれるよう活動を続けています。今後は、11月14日（土）に在京軽米会総会・懇親会を開催するほか、令和9年には東京都内で「かっけを食す会」を予定しています。軽米町をはじめ、盛岡市や仙台市にお住まいの皆様も、興味がありましたらぜひご参加ください。

次回の「在京だより」では、在京軽米会総会・懇親会の開催の様子をお伝えできればと思います。また、今年の「かるまい冬灯り」のイルミネーションも楽しみにしています。

軽米町では秋祭りも終わり、これから本格的な寒さを迎えることと思います。皆様も体調を崩されませんよう、温かくしてお過ごしください。今後ともよろしくお願いいたします。

軽米高校同窓会東京支部長・在京軽米会副会長
畑澤 康弘（やすひろ）





かっけを食す会

北海道音更町 姉妹町だより

新路線バス「みちバス」の完成披露セレモニー

9月27日、町内2カ所の道の駅間を結ぶ新路線バス「みちバス」の完成披露セレモニーが役場前で行われました。バスのデザインの一部には、町内の小学5～6年生9人が「音更の四季」をテーマに描いたデジタルアートを採用。各児童にデザイン画付き記念シートが贈呈されました。木野東小5年の髙田華さん（10）は、冬をテーマに白鳥をデザイン。「ラッピングがかわいい」と笑顔で話していました。



わたしたちの描いた絵が、町内を駆け巡ります

北海道音更町（おとふけちょう）

十勝平野のほぼ中央に位置し、人口約42,000人。自然豊かでじゃがいもや玉ねぎなどが特産。当町とは、1985年10月31日から姉妹提携し、小学生の宿泊研修やイベントなどで相互交流を行っている。応援大使は、同町出身で日本テレビアナウンサーの滝菜月さん。

学校の様子はこちらからもご覧いただけます

ホームページ　note　vimeo

軽高だより

音更高校と交流しました

10月3日（土）、4日（日）に生徒会執行部2年生の4名で北海道音更町を訪れました。音更町と軽米町は昨年姉妹締結40周年を迎えました。昨年は音更高校の生徒が軽米町を訪れ、今年は軽米高校の生徒が音更町へ行きました。

まずは道の駅おとふけで記念撮影を行い、自動運転バスの乗車体験を行いました。お昼は名物の豚丼をいただき、午後はパークゴルフを通じて交流を深めました。翌日は朝に熱気球体験をし、その後みのりーむフェスタでステージ発表をさせていただきました。2日間だけでしたが思い出に残る交流をすることができました。



音更町発祥の地の石碑



道の駅おとふけで記念撮影



パークゴルフ交流



熱気球体験



ステージ発表も盛り上げました！

広告スペース

玉姫グループ
葬儀・法要専門会館
セレモニーホール
玉泉院
0120-494-109
その人生に感謝を。
葬儀・法要お気軽にご相談ください 館内見学、事前見積り相談承っております。
二戸玉泉院 TEL.0195-29-1600
久慈玉泉院 TEL.0194-53-0061
軽米玉泉院 TEL.0195-46-4109
福岡玉泉院 TEL.0195-23-4440
九戸玉泉院 TEL.0195-43-3409

News from library

図書館だより

おすすめの本を紹介するコーナー

■向屋敷 大翔（ひろと） さんお気に入りの一冊



向屋敷　大翔 さん
（小軽米小学校４年）

虫歯のもんだい

文/北川原健
絵/柳生弦一郎（福音館書店）

僕のおすすめの本は、「虫歯のもんだい」という本です。この本は、いろいろな虫歯の絵がかいてあって、どんな状態が虫歯なのかが分かりやすいです。歯は白くて、かたくて、丈夫だけれど、骨とは違うので、毎日磨くことが大切だと思いました。

僕が心に残ったのは、「虫歯ができたら自分の責任」という言葉です。自分の生活が、歯の健康につながっていることを意識して生活していきたいです。

児　童　書



なんにもしないで いられるばしょ

文/ロレダーナ・バルディヌッチ
絵/メリンダ・ベルティ
訳/あさくらあい（工学図書）

アルジェントが探しているのは、なんにもしないでいられる静かでこぢんまりとした場所。そうだ、ぼくだけの場所を見つける旅に出てみよう！

一　般　書



ひとりを楽しむ小さな習慣

著/みつはしちかこ（明日香出版社）

思い出を力に、衰えは見ぬふりを。あらゆるものに「ありがとう」を言う。ひとりの寂しさと自由、自分で自分を楽しませる小さな習慣について。

図書館ひろばのご案内

絵本の読み聞かせや紙芝居などをします！
日時：12月19日（土）10：00 ～
場所：宇漢米館２階　研修室２（和室）
対象：幼児、小学生

11月のテーマ図書展

大切なトイレ

11月19日は、「世界トイレの日」です。日本では、清潔なトイレをいつでも当たり前に使える環境が整っていますが、世界を見れば決して当たり前の事ではありません。現在でも世界の人口のおよそ5人に一人は、清潔なトイレを利用出来ていないのです。この日を機に、トイレの大切さについてもう一度考えてみませんか？



Dreams come true

夢・希望・えんぴつ

子どもたちの夢を紹介して応援するコーナー

中村　陽菜（ひな） さん（軽米中学校２年）

私が卒業するまでに実現したいこと



軽米中学校には、軽中生として目指すべき姿を示した「ハートフル宣言」があります。「尊重」「つながり」「協力」。軽中生はこの宣言を日々大切にしながら学校生活を送っています。

私はこの「ハートフル宣言」を土台に、卒業までに心から誇れる学校を自分たちの手で作り上げたいと考えています。

特に私が力を入れたいことは、学年を超えた挨拶です。挨拶が活発になることで笑顔が増え、みんなが楽しく登校できる学校になると思うからです。積極的な挨拶や思いやりのある行動を自分から心がけ、「ハートフル宣言」が目に見える学校を目指して頑張ります。

Unique poems

町文化協会　北光吟社　９月例句会

暮れかかる河川敷（かせんじき）にて韮（にら）の花　中野　とき子
秋場所（あきばしょ）の楽日（らくび）去り行く庄之助　長島　龍泉
秋の夜や祭囃子（まつりばやし）の遠ざかる　君成田　美代子
望月（もちづき）の出し（いで）今宵（こよい）は雲うすく　丹下　美恵子
十六夜（いざよい）やしきりに想（おも）ふ姉のこと　千葉　ふみ子
山車（だし）曳く子記憶に遠き秋祭（あきまつり）　高橋　美智子
うとうとと祭（まつり）ばやしの子守唄（こもりうた）　川﨑　郁子
八甲田（はっこうだ）の峰（みね）そびえ立つ秋の空　大清水　雪子
熊恐（くまおそ）れ道路で拾（ひろ）ふ栗（くり）少し　三上　千栄女
ワンピース着ぬまに過（す）ぎし夏惜（お）しむ　工藤　トモエ

広告スペース

宮沢歯科医院
健康は『健口』から
≪診療科目≫
一般歯科
口腔外科
診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土
9:00 ～ 12:00 | ● | ● | ● | ● | ● | ●
14:00 ～ 18:00 | ● | ● | ● | 休 | ● | ●
※予約制・当日予約可　休診日　日曜・祝日　第１，３土曜日
宮沢歯科医院　軽米町　検索
九戸郡軽米町軽米8-105
☎0195-46-2953

中小企業の繁栄と発展をサポートします
丸橋　弘
税理士事務所
税理士　丸橋　弘（東北税理士会所属）
相続税・贈与税・所得税・法人税・消費税
丸橋弘税理士事務所　検索
TEL:0178-32-0170
八戸市売市一丁目12-5

日帰り白内障手術・小児眼科
医療法人 仁久
白山台くに眼科
理事長 日本眼科学会認定専門医　濱端 久仁子
診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土
9:00~11:30 | ● | ● | ／ | 手術 予約のみ | ● | ／
14:00~16:30 | ● | ● | ／ | 注射 | ● | ／
休診日:毎週水曜・第4土曜・日祝
TEL:0178-51-9251
国道104号線、八戸駅
八戸IC
白山台入口
グランドサンピア八戸
TSUTAYA
いとう整形うしお内科
八戸ニュータウンショッピングセンター
八戸道
当院
白山台小学校
いとう整形様第２駐車場内・うしお内科様と同じ建物の左側です
八戸インターより車で3分

聞こえにくいでお困りではありませんか？
・最近テレビの音が大きい
・聞き返しが増えた
聞こえ・補聴器相談
まずはご相談ください。
ひいらぎ耳鼻咽喉科
・八戸グランドホテル前
・八日町バス停徒歩３分
☎0178-70-5510

広告スペース

みんなの国民年金

11月は「ねんきん月間」、11月30日は「年金の日」です！

日本年金機構は、国民の皆さんに公的年金制度を身近に感じてもらい、公的年金制度に対する理解を深めるための普及・啓発活動に取り組んでいます。

また、11月30日（いいみらい）は、ご自身の年金記録や年金受給見込額を確認し、将来の生活設計を考えてもらう「年金の日」です。この機会に「年金定期便」や「ねんきんネット」で年金記録の確認や年金見込額を試算して、将来の生活設計を考えてみませんか？

「ねんきんネット」は、パソコンやスマートフォンから、いつでもどこでもご自身の年金記録を基に将来の年金見込額を試算することができるほか、「未納期間を確認したい」「年金振込通知書などの通知を確認したい」など年金加入者の方々にも役立つサービスです。

先月の記事でもご紹介した社会保険料控除証明書についても、マイナポータルとねんきんネットの連携手続きがお済みの人は電子送付での希望登録を行うと電子データで受取り、ｅ－Ｔａｘによる確定申告で利用できるようになります。ぜひ、ご利用ください。

【問い合わせ】
二戸年金事務所（☎23-4111）
町民生活課　（☎46-4734）

入会登録料を補助

i-サポで出会いを見つけよう

結婚サポートセンター「ｉ－サポ」は、県と市町村などが協力してパートナー探しをサポートしています。会員登録制による1対1の出会いの場を提供し、専任のスタッフが交際につながるまでをしっかりフォローします。「ｉ－サポ」で理想の相手をみつけませんか？

※町では入会登録料1万円を全額助成しています。

【問い合わせ】
健康福祉課福祉担当（☎46-4736）

かるまいテレビ スライドショー作品募集中

■放送時間
9：30、11：30、15：30、18：30

■募集作品
絵手紙、絵画・感想画・イラスト
書道、写真（風景・日常・子育てなど）

【問い合わせ】
政策推進課（☎46-2115）　応募はこちら

あとがき



今月号では、町で開催された「全国さるなし・こくわサミット」を取り上げました。全国各地から関係者が集まり、改めてさるなしの魅力を感じる機会となりました。軽米ではおなじみのさるなしですが、まだまだ知らないことも多くありました。これを機に、軽米のさるなしが全国にもっと広まってほしいですね！（Kai Odashima）

戸籍の窓口

9月1日～9月30日 ※敬称略

おくやみ

小笠原	均	(84)	向川原
坂本	ユキ	(90)	門前
竹林	朝雄	(73)	中村
荒川	ミネ	(84)	長倉
松原	浩子	(51)	小松
鶴飼	光春	(79)	鶴飼
馬場	敏男	(77)	屋敷
大澤	功	(89)	下新町
稲葉	香津子	(93)	向川原
大村	ミチ	(97)	蛇口
劔吉	久美子	(69)	向川原

人の動き

令和8年9月30日現在(カッコ内は前月比)

人口　7,477人（－34人）
男性 3,658人（－15人）
女性 3,819人（－19人）

世帯数　3,519世帯(－17世帯)
転入　5人　転出　21人
出生　0人　死亡　18人

交通事故

9月末(カッコ内は1月からの累計)

人身事故	0件（ 0件）
死亡者	0人（ 0人）
物損事故	13件（113件）

火災・救急

9月末(カッコ内は1月からの累計)

火災	0件（ 6件）
救急	21件（258件）

休日当番医

(ニ)…ニ戸市　(軽)…軽米町　(一)…一戸町

日	急患（午前9時～午後5時）	電話	歯科（午前9時～正午）	電話
11/15	ほそかわ小児科クリニック(ニ)	26-8100	岩渕歯科医院(一)	32-2238
11/22	小野寺内科医院(一)	33-2505	菅歯科(ニ)	23-5161
11/23	よこもり眼科クリニック(ニ)	22-2230	渡辺歯科医院(ニ)	23-2052
11/29	千葉耳鼻咽喉科医院(ニ)	26-8133	国香歯科医院(ニ)※裏小路	23-2223
12/6	かわさきクリニック(ニ)	26-9900	小野寺歯科医院(一)	33-3050
12/13	にのへ駅前脳神経外科クリニック(ニ)	26-8815	ますだ歯科クリニック(ニ)	26-8282

広告スペース

広告募集

問い合わせ　seisaku@town.karumai.iwate.jp

1号広告（本枠）
○白黒　4,000円
○カラー　6,000円

2号広告（横幅が本枠の倍）
○白黒　8,000円
○カラー　12,000円

※半年以上の連続掲載で割引あり。

当院にご相談ください
喘息・長引く咳・長年のタバコで息苦しい
高血圧・糖尿病・高脂血症・睡眠時無呼吸
八戸図南小学校向い（登り街道340号線　八戸市内入ってすぐ）
はやし呼吸器・総合内科クリニック
電話　0178-20-7723

行政書士法人 リプル法務
＝ 出張します ＝
相続、贈与、クルマ手続
《許可申請》建設業、産業廃棄物
久慈本所　久慈市栄町第37地割148番地1　☎ 0194-52-2938
八戸事務所　八戸市大字市川町字桔梗野6丁目1-133　☎ 0178-32-7217
代表社員　行政書士 下道利幸　直通☎：090-5595-1200

広告スペース

発行｜軽米町　編集｜政策推進課
〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米10-85

軽米町のホームページ・SNSはこちらから！
フォローや友達登録よろしくお願いします。

軽米の輝き人 vol.67

One and only brilliance







全国の舞台で堂々の総合司会

岩手県商工会青年部連合会　副会長

大　崎　　伸　幸

O S A K I　　N O B U Y U K I

10月27、28日に東京国際フォーラムで開催された「商工会青年部・女性部全国組織化60周年記念大会」の2日目に、総合司会を務めた大崎伸幸（のぶゆき）さん（向川原）。岩手県商工会青年部連合会の副会長を務め、軽米町商工会青年部の前々部長としても活動してきた。

大役を任されたきっかけは、昨年岩手県で開催された全国大会だった。司会を担当した際の反響が大きく、全国の会長から再び声が掛かったという。「全国大会なので、責任感を持ってビシッとやろうと思った」と振り返る。本番に向けて大好きなお酒も控え、体調管理を徹底。約6千人が集まる会場で、28日の商品PR企画「商人ネットワーク」の進行などを務めた。「緊張はあまりなかった」と笑顔を見せる。

普段は、株式会社大崎工業で塗装を中心としたリフォーム業に携わる。町商工会青年部には約10年前、当時の部長に誘われて入部。大崎さんが部長時代には、街コンや花火大会などを企画し、地域を盛り上げてきた。現在は県連合会の副会長として、研修事業の企画や各地域の青年部活動を支えている。

「入部当時は他の地域との交流も少なかったが、今は本当に仲が良く、助け合える関係になった」と、仲間とのつながりを何より大切にする大崎さん。「町が盛り上がらなければ、俺らも盛り上がらない」と力を込める。

「自分にできることは小さいかもしれないけど、仲間と一緒に町を盛り上げていきたい」。全国の舞台で得た経験と人とのつながりを力に、ふるさと軽米の活性化に向けて歩み続ける。

UD FONT by MORISAWA
見やすくよみまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。